

令和 6 年度第 2 回小牧市環境審議会 議事録

日 時	令和 6 年 10 月 16 日（水）午後 2 時 00 分～午後 3 時 15 分
場 所	小牧市役所 本庁舎 6 階 601 会議室
出 席 者	【委員】（50 音順） ○石川 英里 中部大学工学部教授 今枝 正 こまき環境市民会議会長 酒井 美代子 小牧市女性の会会長 田上 昭典 小牧市小中学校校長会 馬場 容子 公募委員 松本 高幸 公募委員 宮脇 稔 愛知県地球温暖化防止活動推進員 ◎山本 敦 中部大学応用生物学部教授 吉本 三広 市内事業所推薦 ※ ◎会長 ○副会長 【事務局】 入江 慎介 市民生活部長 落合 健一 市民生活部次長 梅村 知成 環境対策課長兼ゼロカーボンシティ推進室長 鈴木 尚紀 ごみ政策課長兼ゼロカーボンシティ推進室主幹 宮下 美則 リサイクルプラザ所長 赤堀 真耶 環境政策係長兼空港対策係長兼ゼロカーボンシティ推進係長 若山 愛美 環境政策係主任兼空港対策係主任兼ゼロカーボンシティ推進係主任
欠 席 者	0 名
傍 聴 者	0 名
配布資料	・ 次第 ・ 資料 1－1：第三次小牧市環境基本計画（改定版）素案 ・ 資料 1－2：第三次小牧市環境基本計画（改定版）今後のスケジュール（予定） ・ 資料 2－1：環境都市宣言について ・ 資料 2－2：環境都市宣言の変更点概要について ・ 資料 2－3：（案）小牧市環境都市宣言 ・ 資料 2－4：（現行）小牧市環境都市宣言 ・ 参考資料：令和 6 年度第 1 回小牧市環境審議会 意見及び対応

主な内容

1 あいさつ

- ・入江市民生活部長あいさつ
- ・山本会長あいさつ

2 議題

(1) 第三次小牧市環境基本計画（改定版）の素案について

- ・事務局より資料 1－1 及び 1－2 について説明
- ・質疑、主な意見は以下のとおり

(吉本委員)

素案ということだが、大変よくまとまっている。前回の審議会も踏まえ、全体の構成・骨格については、従前を踏襲しつつ、新規の章立ての項目を設けるなど、コロナ禍における社会環境の変化、あるいは人口減少時代を反映する内容となっていると思う。

その中で 4 点ほど確認させていただきたい。

22 ページに現行計画の進捗評価として総評と結果が掲載されている。結果に「B」や「A」とあるが、それぞれの基準を記載してもらえると分かりやすいと思った。22 ページの上段に『詳細は資料編「2. 小牧市の環境に関する意識・意向調査結果の概要」及び「3. 第三次小牧市環境基本計画の進捗評価」を参照』とあるので、これから資料として示されるかもしれないが、検討をお願いしたい。

次に 37 ページ以降に掲載されている達成目標について、事務局から説明いただいたが、まだ詰めきっていないところが一部あるということなので、それを踏まえてまた目通しさせていただければと思う。

次に、59 ページから環境系統別の生物多様性保全方針が、樹林地、農地、水辺、市街地別に掲げられている。個別で保全方針を決めるということは分かるが、それぞれが相関し合いながら、生態系というのはでき上がっているため、もしそういった文言などを加えていただけたらいいかなと思った。

最後に 60 ページ、62 ページ、64 ページ、66 ページに小牧市を色分けした凡例が書かれているが、橙色や青線が何を示しているかが分かりづらいと思った。例えば、62 ページの特徴に「大山川などの河川沿い、市の北西部、南西部が該当します」と書かれているため、文章を読めば何となく分かったが、もし可能であれば、橙色等が何を指しているのかを凡例に加えていただければと思った。

(事務局)

まず 22 ページの進捗評価の評価基準について、分かりやすいように追記することも検討したい。

続いて、59 ページに系統別だけではなく、生物多様性が全体的に関わっているような記載をというご意見に対し、生物多様性地域戦略の冒頭のあたりには、全体のこととして書いてある文面もあるが、今いただいた意見を踏まえて書き加えるかどうか

を検討したい。

次に 62 ページ以降の小牧市の図について、私たちは理解したうえで見ているが、ぱっと見て分からない部分もあるかと思うので、凡例の追加については検討したいと思う。

（山本会長）

吉本委員の意見に関連して、20 ページには気候変動の影響評価として「●、▲、■」とあるが、黒塗りでしかも記号がとても小さいため、できれば白抜きで大きくしてもらえると分かりやすいのではないかと思ったので、検討していただきたい。

（酒井委員）

第 4 章の目標達成に向けた施策・取組の中で、77 ページに達成目標として「熱中症搬送者数」があり、基準値が 129 人/年となっている。今年は非常に暑かったが、現時点での搬送者数は把握しているか。

また、今後もどんどん気温が上がっていくと予想されている中で、目標値である 100 人/年というのは達成可能な数字なのかお尋ねしたい。

（事務局）

国の報告期限である 5 月 1 日から 10 月 6 日までの集計になるが、今年の熱中症による搬送者数は 187 人となっている。これは近年で搬送者数が一番多かった平成 30 年度の人数を大きく上回っているような状況である。

今年度より少しの間、暑さを避ける場所として、小牧市としても独自に「涼み処」の提供を開始するなど、熱中症対策に力を入れているところではあるが、達成目標については、関係部署や国、近隣市町の状況を確認しながら、もう一度検討したいと思う。

（山本会長）

ペナルティがあるわけではなく、あくまでも目標値なので、先ほど言われた「涼み処」など具体的な施策のほうがいいのではないかと思う。どうしたら熱中症による搬送者数が減るのか、アイデアが欲しいと思った。

（酒井委員）

すばらしい計画だなと思って中身を見させていただいた。委員の皆さんからいろいろな意見が出て、さらに良くなることを期待している。

（宮脇委員）

68 ページに指標生物種について、水辺 10 種類の 1 つとして「トウカイコモウセンゴケ」が記載されているが、私の知る限りではトウカイコモウセンゴケは湿地の生物である。小牧の湿地は 1 ヶ所しかないと思うが、守山の八竜湿地や小畑緑地と比べても愛知県内のトウカイコモウセンゴケの群生地として一番広いのではないかと考えており、これは小牧として誇れる部分だと思う。

68 ページの指標生物種には湿地の生物も水辺に含まれている一方で、64 ページの水辺の生態系では湿地に関する記載が全くない。これだと 5 年後、10 年後に見た時には湿地はなかったと錯覚されてしまうと思うため、今ある実態を反映してほしい。

だから是非、水辺の生態系に湿地を入れていただいて、その湿地にはトウカイコモウセンゴケの群生地、東海丘陵要素植物の 1 つがそこにあるということを訴えてほしい。

(事務局)

宮脇委員のおっしゃる通り、水辺には湿地帯も含まれるが、確かにここには湿地帯について記載していないため、今のご意見も含めて記載を検討させていただきたい。

(馬場委員)

まず 56 ページの「自然共生社会の実現に関する課題」として①、②、③とあるが、②と③が課題の内容になっていないのではないかと感じた。この自然共生社会というのが人と生物が自然の中でどのように共生するのかということなのかなと私は感じて読んでいたため、②が緑の保全、③が水辺の保全とか水循環の大切さということが書かれていて、「こういうところが問題です」ということが書かれていないため、課題を書いていたideきたいと思った。

また、この 56 ページの内容について、樹林地、市街地、水辺の保全とあるので、できれば農地も入れていただき、59 ページに掲げられた 4 つの生態系と整合性を図られるような書き方をするといいのではないかと考えた。

または、70 ページの個別テーマ 6「生物多様性の保全」、そして 72 ページの個別テーマ 7「みどり・水辺の保全」に沿った課題として②と③を書いたのかというのが疑問なので教えていただきたい。個別テーマに沿った課題としたのであれば、56 ページの②の 4 行目は緑の基本計画から引用された文章となっており、引用が必要であったならば別だが、緑の大切さを書くのであればインパクトの強い新しい文章を書いていたideきたいと思った。先ほど申し上げたように、希望は樹林地、水辺、農地、市街地についての課題を書いていたideきたいが、検討をお願いしたい。

次に 2 点目として、68 ページ、69 ページに指標生物種、保護が必要な絶滅危惧種、対策が必要な外来種とあるが、今後、生息・生育確認していく上では、絶滅危惧種や外来種も調査の対象にしていきたい。絶滅危惧種や外来種も指標となる生物種になるということを書いていたideきたいというのが希望である。

また、69 ページの達成目標について、基準値の下に「R5 年度末時点」とあるが、令和 5 年度にどのような調査をしたのか、内容を教えていただきたい。

次に 70 ページの 6-1 の一番下の行に「小牧市固有の生物多様性」、また、6-2 の下から 2 行目に「本市固有の生物多様性」とあるが、少し違和感のある表現だと思った。固有種や固有の生物というのであれば分かるが、生物多様性というのは一般的に全てがバランスよく関わっているというような言葉であるため、「在来を生物を脅かす外来種」にするなど、もう少し分かりやすい言葉にしてもらいたいと思った。

次に 71 ページの施策評価指標について、1 行目に新規で「生物調査の実施回数」として基準値が 1 回/年とあるが、調査によっては 1 日 1 回のものもあれば、月 1 回で年に 12 回のものもある。または、ある期間中ずっと続けて結果を出してそれが 1 回など、数では曖昧なものになってしまうのではないかと考えている。そのため、こ

の回数を指標にするのはどうかというのが私の考えである。

最後に 72 ページに「7-1 森林、農地の保全」、「7-2 河川・水辺の保全、整備」、「7-3 公園の整備」について書かれているが、7-1 には、動植物の生息・生育空間のことが書かれていて、7-2 の水辺でも多様な動植物が生息・生育できると書かれているが、7-3 だけ生物と触れ合うことができる身近な場所というような書き方がされていないので、ぜひ盛り込んでいただき、市街地でも市民が自然環境に触れられる、生物多様性の保全に寄与する活動に参画する場所となるというようなことを加えていただけるとありがたいと思った。

(事務局)

まず 1 つ目として 56 ページの農地も課題に含めて欲しいというお話だが、56 ページに掲げている課題については、環境系統別の生態系の課題を記載したというのではなく、序章的な位置付けとして、小牧市における自然共生社会全体の課題として掲げているため、1 つ 1 つの項目についての記載はしていない。この課題を踏まえ、4 つの環境系統別の生態系の課題を 59 ページ以降にそれぞれ記載するような構成となっている。

また、56 ページの中に緑の基本計画からの引用という話もあったが、緑の基本計画と緑の保全を図るという目的、趣旨は同じであることから、緑の基本計画の文面を引用しているが、インパクトに欠けるというような話もあったため、一度検討したいと思う。

続いて 2 点目に 68、69 ページの指標生物種、絶滅危惧種、外来種に関して、ここでのいう指標生物種は、4 つの環境区分と植物、草食、小型肉食、大型肉食という生態系ピラミッドをマトリクスにより整理を行い、偏りのないように選定している。

今回策定する生物多様性地域戦略においては、環境系統別に保全方針を定めているため、指標生物種の生息・生育状況の変化を確認することにより、環境系統別の課題が浮き彫りになり、施策及び取組に反映させやすくするねらいがある。そのため、絶滅危惧種や外来種についても、生息・生育の確認は必要と考えているが、指標生物種ではなく、あくまでも保護が必要な絶滅危惧種、対策が必要な外来種という表現にとどめている。

絶滅危惧種については、生息・生育数が少ないことから毎年観測できる可能性が高くないと考えており、また、市民からの生息・生育確認の情報はその時々を観察者数などの影響を強く受けることから、達成目標として数値を経年的に比較する意義が少ないと考えたため、指標として掲げていない。

また、外来種については、生息・生育数が多く、根絶できたかどうかと判断が困難であること、市民からの情報は報道等の影響を強く受けることから、達成目標としての数値は経年的に比較するよう意義は少ないと考えたため、指標としては掲げていない。

なお、外来種に関しては、達成目標ではなく施策評価指標に「事業者、環境保全団体等との協働による外来種駆除活動等の実施回数」として定めており、今後も外来種

に対する取組を進めていきたいと考えている。

それから 69 ページの達成目標の項目に「R5 年度末時点」と書いてあるが、どんな調査をしたかという質問について、指標生物に限定した調査は行っていないが、小牧市を流れる川の水生生物調査や兒の森定期観察会など、市民や市職員の情報をもとに基準値を定めたものである。

続いて、70 ページの「本市固有の生物多様性」という表現について、実際本市にしかない固有の生態系というのは、特にはないと考えており、いささか大げさな表現であったかと思う。文章の見直しを考えたい。

次に 71 ページの施策評価指標の「生物調査の実施回数」に 1 回/年とあるがどのような調査かという質問について、ここである調査は毎年 1 回実施している環境マップに関する調査のことを指しており、改定版より新たに指標として定めることから「新規」と書かかせていただいた。そういった生物調査の実施回数を増やすことを今回の施策評価指標として掲げさしていただいている。

最後に 72 ページの 7-3 公園の整備のところに、生物の触れ合う空間などの意味も追記してほしいというご意見については、記載内容の見直しを検討したいと思う。

（馬場委員）

環境マップは確かに 2 日間で 1 回というのは分かるが、回数というよりは、報告結果数とか、実施回数が多ければいいのか、少なかったら意味がないのかというように感じてしまう。回数によって判断すると非常に幅があって、曖昧なものを指標にするのはどうかと思ったので、検討していただけるとありがたい。

（石川委員）

達成目標や施策評価指標の基準値について、例えば 71 ページだと市民菜園の利用者数が 198 人/年となっているが、これは R5 年度の時の回数や数値を基準値にしたということか。

（事務局）

おっしゃる通りで、令和 5 年度の実績値としてこの数字があり、今後目指す方向を上げていきたいということである。

（石川委員）

R5 年度に、これを基準値として決めたのかと思っていた。R5 年度の時のデータを基にそれより増やすということで理解した。

（今枝委員）

48 ページの③プラスチックごみの削減のところで、文章中に「完全に分解されることなく存在し続けることから、海の生態系に甚大な影響を与える」と書いてあるが、ご存知のように海の生態系だけでなく、人間の体内にもマイクロプラスチックが確認されているという報告もあった。マイクロプラスチックの存在も含めて、人体や土壌にも影響を与えてるというような文書を付け加えたらどうか。

（事務局）

確かにここには海洋プラスチックの話しか記載していない。人体の血中にも入って

いるというような情報も出ているため、その辺も踏まえて記載を検討したい。

(松本委員)

前回の会議で資料いただいてから、初めて計画を読ませていただいて、そもそも環境基本計画というものがあるということを全然知らなかった。現行計画と今回の改定版の素案を見比べると、レイアウトやタイトルが見やすく、所々にコラムが入ってて、巻末の用語集とは別に読みながら、難しい言葉も勉強になり、読み物としても面白いのではないかと考えている。

今回の改定版には、最初の方に推進主体は市民と事業者と小牧市と明記されているため、市民がやることがはっきり書いてあっていいなと思う。個人的には、市民の取組について、もっと踏み込んでもいいのではないかと考えたが、数値目標などもあるため、難しいかもしれない。

議題の次のその他で話があるかもしれないが、環境都市宣言でも主語のところに「私たち小牧市民は」と入っており、方向性としてとてもいいのではないかと考えている。

また、別の話になるが、公共交通機関に関する取組に関する情報提供で、春日井市がバス1日無料デーというものをやっていた。普段、バスに乗ったことがない人がタダなら乗ってみようというのをきっかけに利用が増えるかもしれないと思った。

(田上委員)

先週、うちの学校の4年生の子どもたちが、水辺の生物調査ということで、八田川に行った。私も2年連続で八田川に行き、子どもたちと一緒に生物を捕まえたりして、「こんなに生き物がいるんだ」、「ヤゴを初めて見た」という子どもも何人かいて、このような活動ができる環境にある小学校は本当にいいなと感じた。逆に、近くにそういう川がない子どもたちに対して、市として何かしらの活動を検討していただけるといいと思った。

改定版の計画は見やすくなり、絵も入って、子どもたちが見てもわかりやすくなったと思う。子どもたちは1人1台タブレットを渡しているが、子どもたちはQRコードを読み込んで、いろいろ調べたり普段の授業を行っている。今回、この改定版にもQRコードがいくつか掲載されていて今ドキだなと思ったが、可能であれば、計画自体もQRコードで読み込むことができれば、タブレットやスマホで読む子どもが増えるのではないかなと思ったので、検討いただけるとありがたい。

(山本会長)

今はスマホでQRコードかざせば何でも出てくる時代になっているため、ぜひ検討できるのであればお願いしたいと思う。

最後に私から、27ページに将来イメージの図があって、5つのまちが出てくるが、一番下の「環境づくりのまち」だけが言葉として異質なような気がした。要するに、環境づくりのまちの中にすべて4つのまちが入ってくるとイメージをしていたので、検討できるのであればお願いしたい。

3 その他

(1) 環境都市宣言について

- ・事務局より資料2－1から2－4について説明
- ・質疑、主な意見は以下のとおり

(宮脇委員)

環境宣言都市の内容についてはよく分かったため、私たちも実行していきたいと思った。

SDGs 未来都市について、近くだと恵那市が SDGs 未来都市に選定されており、プラスチック容器を木の容器に取りかえるという取組を実施している。

小牧市も環境都市宣言や SDGs 未来都市にも選定されているので、市民に波及していくような具体的な取組を、今年はこのテーマでという形いいので何かできないかと思った。公金は使わずに、市民に広まる取組をやっていただきたい。

(山本会長)

確かに宣言だけでは、私たちが何をすればいいかが全く見えてこないわけで、そういった具体的な行動案等も、別の形で示していただけるとありがたいというのが宮脇委員の意見だと思う。ぜひ検討していただきたい。

以上